



人生の道

道とは道である。孔子の言に「人能く道を弘む、道人を弘むるに非ず」とあつて、道人を弘むるが故に人道を説く者を生じ、王道、臣道、夫道、婦道、聖道、政道などを論ずる者がある。道路の改良も亦道を弘むるものである。だが道は人をおしひろむること能はざるもので人が主で道が従たることを孔子は述べてをる。匡救事業に依る道路事業の如きは或は道人を弘めて居るには非ざるか。「人生謳歌」(ダス・リード・フオム・リーベン)の説明に「人生は水の流る、音楽のメロデーの如く、其處に平和な小波がある、甚しい激流がある、戀のクリ

センドがある、失望のデクリセントがある。そして其のメロデーは永遠に繰り返されるのである」と坦々たる平地に帯の如く造られた道路も迂餘曲折がある、橋となつて緩流激流を涉ることがある、重疊たる山間の溪谷より溪谷を縫ひ行くことがある、峯又嶺をつたひめぐることがある、それ大陸の續く限り道は續き行きて歩めど行けども際限がない観がある、されど此の無限の道も其事業には人の力が用ゐらるる、人の野心が關係する、であるから優つた方ある者、野心の大なる者が現はると道は絶ゆる、路は曲げらるゝ、道が人を弘むる能はざるが爲めに道の事業は行詰る、外國の領土で砲車や装甲車が運轉されるれば足れり

注
本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安と風俗とを害し又は人身攻撃に涉らざる限り奇想天外的の投稿を望む、一文四百字位にて取捨は編輯子に一任、原稿は道路の改良編輯部宛のこと。

だ、國內では肥料車や牛車や、非役人を運搬するには道は要なしであるか之れも非常時間のフェノメナであらう(トウミン生)

廣耳短舌?

環狀線路上を疾驅して居る圓タク車内の客、運轉手に向つて「君道路がよくなつたらう。」運「エー良くなりました。」客「ソウダロウ僕の方でやつてをるが今ぢや全國的に道路丈は良くなつたネ。」運「ソウです、デスが長い間かゝつてやつと出来上つた道路が一二度運轉するとすぐまた掘り返さる、それでなか／＼元の通りにならない、費用は餘計にかゝる、交通には不便だアリヤどう云ふのですかネ。」客「やかまし

言つてをるがどうもうまくいかん。」選「一體私達から見ると役人のすることは譯がわかりませんネ。」と答は黙す、約束の地點に達したので賃錢を拂つて答はモクとして去つた、此對話は罪のない方だ、市電車中とある夕方全面粗糲をはやした政黨の院外員らしき和服姿の男にやゝモダイン姿で新聞記者が雜誌記者らしき神經質的な洋装無髯の男が「ヤゝ暫らくだつたネ、時に君面白くなつて來た、先づ場一をイビリ出すとする、それで政友會は混亂する、内閣は倒れる、政界は右に行くか左に行くか兎に角我々の社會は面白くなるネ」髯「ソウかソリヤ其芝居は甘く行くかネ苟くも閣員の一人を、イビリ出すことは容易でない」無髯「イヤ譯はないサ尊氏を見給へ老ぼれの神官に拂ひ出されたぢやないかハハハツ」髯「アリア貴族と言ふ現内閣の疫病神の祟が恐しいからよ腕の兒分ぢやそうは行くまい」無髯「行くとも行くともそう行かせなけりやならんが一體チャナリストが氣弱く

ていかんチャナリストが一齊射撃と出りや鳩一何かあらんだネ」髯「うまくやり給へ僕ハコンナ、スローモーションの内地はあきたからチ、ハルへ近日中に出掛ける寒いことは平氣よサヨウナラ」とある交叉地點で髯は下車した、傍若無人の談話は聴くともなしに聞かせらるゝ第三者をして頗覺せしめた、耳を廣くして舌を短くせよとの諺を思ひ出されたことぢや(ダンロツツ生)

尊氏と貴族院の動き

前の商工大臣で先考信行氏に星亨氏と共に夙に自由民権論者で東京府下三多摩郡に自由黨を旺盛ならしめた政治家、第一回衆議院議長で有名な湘煙女史を妻とした名士であつたの功勞に依りて男爵とせられ實業界では郷男や故園君や其他有名な連中と相伍して活躍し遂に大臣になつた中島久萬吉男が足利尊氏論と云ふ氣まぐれで面白半分であつても學徒氣取りの隨筆の舊稿を雑誌に投稿した爲めに意外にも愛國の志士の

逆鱗に觸れアタラ大臣を棒にふることになつて山本某氏に「尊氏逃げたり」と展望録に記せられたのである、中島氏は尊氏を忠臣であるとは云はないが「余は僞りならず平素最も尊氏の人物に傾倒して居る者である」と述べて居る所は愛國者の忌諱に觸れた所であらう。だが人物の好悪は各個人の自由であつて大臣であるが故に酋長の娘が美人であると唄はれない理はない、尊氏の人物が氣にいつたと云ふた所で夫れが義公の建立した「嗚呼忠臣楠氏之墓」を無視する譯のものでもない、然るにだ、未曾有の發見でもしたかの如き感を以て梅松論を一讀し「渠亦澹淡その身を持って毫も邊福を修めず而かも其心は廣大無差別にして人に對しては之を信じ之に任して疑はず物に對しては殆んど自他の別なく何物をも愛情せず何物にかその心を抑へられなかつた」との評言を公にしたとて皇軍の士氣に關係するやうなことはないと思ふとの林陸相の答辯は當然である、中島氏の行動が一國の

儀表たるべき國務大臣としては或は輕卒不謹慎であるかも知れないが文部大臣と商工大臣とは聊か趣を異にする所があるやうにも思はるし、此尊氏論を公にしたとて大臣をやめ男爵を拜辭し日本人までも廢業せよと議政壇上で教へらるるに値するものでない、ソナ野卑で不快で顔向の出来ぬ西夫野人の言を弄せらるゝに比敵すべきものでない「私の最初の心持は決して男爵の隱退を目的としたものでない」と告白し「言論の逆る所用語の穩當ならざりし點」があつたと懺悔したとて堂々たる貴族院議員としての不謹慎不用意下品な言辭が解消せらるゝ理はない、要するに攻められた大臣も大臣だが攻めた議員も議員だ、人を殺して後生命を絶つ意思はなかつた、力を出しすぎた。と陳述しても殺人犯行爲者たることは免かれぬ。帝國議會では法律案や豫算案や國策政綱のみでなく汎く討議し得るとは云ふも老齡者で青年壯年者の先達であり指導の位地に在る議員が感情的言論を發言す

ると云ふことは世道人心に何等の影響する處なきか夫れとも非常の時局に際しての一異象に止むるものであらうか「己が目にある梁を取り去らずして汝の目にある塵を取らせよ」と言ふ者の少からざるを嘆ずるの外ないのであるのである。

井伊大老が十一二歳の紀州の菊千代を將軍に擁立せんとして表裏ぬけ目なく策動した時に水戸前中納言が「外からは虎狼のやうな夷狄が爪を磨いで隙を窺うてをる、内には女子供と腰拔武士とがままごとと政治のらくら日を暮らしてゐる、これで幕府が滅びんで何うする、イヤ、この日本が滅びんで何うする」と激言を放つたことがある非常の難局に際して國策以外の感情的論議で閣臣が進退する、奥女中のかしましき嫉妬がまし風な状態で果して日本精神が發揚せられて行くであらうか、貴衆兩院のままごとらしい議政、其處に如何なる權威があるか、寧ろ街頭に出て、さくら音頭や萬歳音頭に手拍子たたく方が興味ある事ではなからうか(ヒロシ)

道の路と心の路

空に航路がある、海に航路がある、地下に地下道がある、地上に國道がある、軍事道がある、産業道がある、失業匡救道がある、林道がある、自動車専用道がある、軌道がある、鐵道がある、路も千種萬類と云ふべきである、人の心の路もまた種々雑多あるのだ、B新聞に小田原田圃に近い人家の前に一間半幅の道路がある、汚物壙場に行くには通らなければならぬ細道である雨や雪解の日と來たら文字通りの泥と化する汚物車で路面が破壊される通行人は泣面で行く外はないと又或る狹隘な公道で「タクシーの運轉手と馬車挽」とが「氣をつけろ」「馬鹿とつちが氣をつけろだ」との喧嘩が始まつた、周圍は人の黒山で一般通行人は迷惑であつたと道狭ければ人心險惡になるか、廣島縣廣村では通行人も車挽も狭い道で出合はずと身輕い方が道を譲り身重の方が挨拶して通つたものだ人の心の路のよい例だ、道路を工作するにも正直でなければならず、道路を行くにも親切でなければならぬとつくづく考へさせらるゝ事ぢや

(文衛)

交通道德向上の一路？

某電車々掌曰く「何んです、御客第一主義で丁寧親切で最上のサービスをやれと上役の命令なら唯々諾々だ、だが毎日々々車掌のくせに生意氣だツと叱り飛ばされては乗客も人間なら車掌も人間だ斯く侮蔑的な言葉を開きながら事なかれ主義で一もサービス二もサービス三もサービス四もサービスやりきれませんや車掌が生意氣なら御客は荷物ですネハハハツ」女車掌曰く「イヤネいろんなことを聞かれちやイイワぢや一ぱん困まることを。四十歳恰好の御髯さんがニヤ／＼してキツプを渡す指先を握つたり背や腰のあたりをなでたりすること、大學生ときたら、やれシヤンだの御尻が大きだとかヤレ肉感的だとかバスの方の御友達に聞くとオーライ、ストツプの口眞似をすること大抵學生です、停車場以外で乗降りる要求せらるゝことマダあるわ、だけど今日は斯れだけ」……出札ガール曰く「わずかな

料金の切符を買ふのに五圓札や拾圓札や貳拾圓を出してハヤク釣銭を呉れろとドナラレることが一番困るわ、兩替屋ぢやないのは先刻御承知ですのに、女と侮つてのことと時々腹が立ちますすわよ」改札掛員曰く「定期券をハイスビードではやく見よとばかりの態度の客は癪だがわざと鼻の先につきつける客、切符を口にくわへて願をつき出す客、老幼を押しつけて狭い改札口に無理無體に體を押し出す客、まだ／＼優待券持ちの客にいろ／＼の不法者がありますよオツト首があぶない後はストツプ」エレベーターガール曰く「イヤダロ背丈を較べる眞似して春へくつつく若造、大きな荷物を持ち込む客、三人も四人もモチ／＼の小児をつれ込む女、上げたり下げたりが上手だなど之れ聞けがしに話し合ふ學生、思ひ出した様にトンキョウな聲で動き出すと降りるだツと云ふ客、ジロ／＼見つめながら何んだか侮蔑する目付をする洋装女、チョイ／＼手を出す客、早く交代時間が来れば

よい」圓タク車掌早く「俺達を街頭平和の擾亂者もうろう圓タクなどと悪評するが交通安全紊亂客も随分少なくない、ナンボ圓タクでもガソリンもいるし、飯も喰はなければならん、タイヤの修繕もしなければならぬ其他、客の知らない費用がかかるものだ一哩十錢見當なら喜んで乗せる、そうすりや和氣あい／＼裡に輸送するさ、値切らなけりや客でないと計り、言ひ値で乗せりや匡救でもしてやるぞと言はぬばかりの態度スマジキものは圓タク運ちゃんかネ」市電の車掌曰く「雨の降る日の軍人や警官達の雨具の儘の御乗車には俺達よりは婦人客が御困りだらう」交通道德向上の一路どうか皆さん賛成して下さい。(夏木生)

彼女等の足の太さよ

芹の花

ハトウ